

2017年度第3四半期（2017年7月～9月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2017年10月25日（水曜日）

2. 業 績

	第3四半期（7月～9月の3ヶ月間）			累計額（1月～9月の9ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,506	百万ドル 5,716	% -3.7	百万ドル 16,243	百万ドル 16,604	% -2.2
税引前当期純利益	百万ドル 1,075	百万ドル 963	% 11.6	百万ドル 3,019	百万ドル 2,914	% 3.6
当期純利益	百万ドル 716	百万ドル 629	% 13.8	百万ドル 2,021	百万ドル 1,908	% 5.9
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.81	ドル 1.54	% 17.5	ドル 5.09	ドル 4.62	% 10.2
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.80	ドル 1.53	% 17.6	ドル 5.05	ドル 4.59	% 10.0

配当金の推移		
	当年度（2017年度）	前年度（2016年度）
第1四半期	0.43 ドル	0.41 ドル
第2四半期	0.43	0.41
第3四半期	0.43	0.41
第4四半期		0.43
合計	1.29 ドル	1.66 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名: アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード: 8686
問い合わせ先: アフラック日本社 IR サポート室
村上一郎 (Tel: 03-3344-0489)

Aflac Incorporated は 2017 年度第 3 四半期の業績を発表

2017 年度の 1 株当たり事業利益の見通しを上方修正

2017 年度第 4 四半期現金配当を 4.7% 増配

ジョージア州、コロンバス - 2017 年 10 月 25 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2017 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、前年同期の 57 億ドルから 55 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 6 億 2,900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.53 ドル)から 7 億 1,600 万ドル(同 1.80 ドル)となりました。当四半期の当期純利益の増加は、主として、前年同期比の資産運用実現益の水準を反映しています。

前年同期の当期純利益には 1 億 3,000 万ドル(実現益とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.32 ドル)の税引前資産運用実現損が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、7,100 万ドル(実現損とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.18 ドル)の税引前資産運用実現益が含まれていました。当社は 2017 年第 1 四半期より、日本社の運用ポートフォリオにおける一部の米ドル建て投資に係るヘッジ費用の償却額を、事業利益の一部として報告しています。有価証券取引及び減損による当四半期の税引前資産運用実現益は、5,300 万ドル(実現損とのネット)でした。その内訳は、有価証券取

引による税引前資産運用実現益が 6,100 万ドル(実現損とのネット)、減損及び貸倒引当金の変動による税引前資産運用実現損が 800 万ドルとなっています。当四半期の一部のデリバティブ及び外国為替取引に係る税引前資産運用実現益は 1,800 万ドル(実現損とのネット)でした。これらに加えて、当期純利益には、1,000 万ドルの税引前費用が含まれており、これは、日本社の現地法人化に伴う費用を反映したものです。当四半期の非事業損益に係る法人税費用は 2,100 万ドルでした。

以下の説明には、アフラックの米国 GAAP 外の基準による業績指標である事業利益、希薄化後 1 株当たり事業利益、事業ベースの株主資本利益率、ヘッジ費用の償却額及び調整後純資産額への言及が含まれています。これらの指標は、米国 GAAP に沿って計算されておりません。これらの指標は、全般的な経済情勢や事象に影響され、あるいは保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連する傾向にあるため、保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していない可能性があるためと当社が考える項目を除外したものです。当社経営陣は、アフラックの連結ベースの保険事業の財務業績を評価するにあたっては、事業利益、希薄化後 1 株当たり事業利益及び事業ベースの株主資本利益率を用いています。また、これらの指標を表示することは、アフラックの保険事業に内在する利益の原動力や傾向を理解するに際して、極めて重要であると当社経営陣は確信しています。当社は、事業利益の要素であるヘッジ費用の償却額は、日本社における一部の米ドル建て投資のヘッジに係る定期的な為替リスク管理費用を計測するものであり、投資収益(純額)の重要な要素であると確信しています。当社は、経営のコントロールが及ばない市場動向によって変動するその他の包括損益累計額(AOCI)を除外するという点で、調整後純資産額は重要なものであると考えています。当社の米国 GAAP 外の指標の定義と、これらに最も比較可能な米国 GAAP の指標との調整については、本書に添付した表に記載されています。

日本円を機能通貨とする日本社の規模が大きいため、円/ドル為替レートの変動は当社の報告業績に対して著しい影響を与え得ます。円安に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより少ないドル貨で報告されます。円高に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより多くのドル貨で報告されます。このように、円安は、前年同期との比較において当期の業績を押し下げ、円高は、

前年同期との比較において当期の業績を押し上げる効果があります。こうしたことから、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して経済的な意味を持つものというより、むしろアフラックの財務諸表作成に関連する事項であると考えています。また、当社事業の非常に大きな部分が日本で展開されており、為替レートは経営のコントロール外にあるため、アフラックは、日本円を米ドルに換算することの影響を理解することは重要であると確信しています。当期における為替変動の影響を除く事業利益、希薄化後1株当たり事業利益及び事業ベースの株主資本利益率は、全て比較の対象となる前年同期における平均円／ドル為替レートをを用いて計算されており、為替レートの変化のみによってもたらされる、ドルベースの変動を消去したものです。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の102.37円から7.8%円安ドル高の111.03円となりました。年初来9ヶ月間では、平均円／ドル為替レートは、前年同期の108.58円から3.0%円安ドル高の111.89円となりました。当四半期及び年初来9ヶ月間の日本社のドルベースでの成長率は、円安ドル高により押し下げられました。

当四半期の事業利益は、前年同期の7億1,300万ドルから、6億7,600万ドルとなりました。この事業利益の減少は、主として当四半期における円安ドル高の影響を反映したものです。当四半期の全般的な強い利益率は、日本社における保険金給付金比率の改善を動因としており、がん保険の給付に関する準備金の調整額2,200万ドル(24億円)を含んでいます。この準備金調整の税引後の恩恵である希薄化後1株当たり0.04ドルを含んで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期の1.74ドルから2.3%減少し、1.70ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.07ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、1.7%増加し、1.77ドルとなりました。

2017年年初来9ヶ月間の収益合計は、前年同期の166億ドルから2.2%減少し、162億ドルとなりました。2017年年初来9ヶ月間の当期純利益は、前年同期の19億ドル(希薄化後1株当たり4.59ドル)から20億ドル(同5.05ドル)となりました。2017年年初来9ヶ月間の事業利益は、前年同期の21億ドル(希薄化後1株当たり5.06ドル)

から 21 億ドル(同 5.20ドル)となりました。円安ドル高による希薄化後 1 株当たり 0.08 ドルの不利な影響を除いた 2017 年年初来 9 ヶ月間の希薄化後 1 株当たり事業利益は、4.3%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2017 年 6 月 30 日現在の 1,219 億ドルから、2017 年 9 月 30 日現在では 1,225 億ドルとなりました。

当四半期、アフラックは 2 億 1,900 万ドル相当(270 万株)の自己株式を取得しました。本年年初来 9 ヶ月間に、当社は 10 億ドル相当(1,390 万株)の自己株式を取得しました。2017 年 9 月 30 日現在、当社の自己株式取得承認枠は、5,300 万株となっています。

株主持分は、2016 年 9 月 30 日現在が 228 億ドル(1 株当たり 55.84ドル)であったのに対し、2017 年 9 月 30 日現在では 220 億ドル(1 株当たり 55.80ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2016 年 9 月 30 日現在が 61 億ドルであったのに対して、当四半期末では 54 億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で 13.2%でした。

その他の包括損益累計額(AOCI)を除く株主持分は、2016 年 9 月 30 日現在が 174 億ドル(1 株当たり 42.70ドル)であったのに対し、2017 年 9 月 30 日現在は、184 億ドル(1 株当たり 46.83ドル)でした。事業ベースでは、当四半期の AOCI を除く平均株主持分に対する年率換算利益率は、為替変動の影響を除いて 15.4%、本年年初来 9 ヶ月間では 15.5%でした。

日本社

円ベースで、日本社の当四半期の保険料収入(再保険とのネット)は、第三分野保険の保険料収入が増加したものの、貯蓄性商品の保険料の払済化を要因に、当四半期に予想されていた第一分野商品の保険料収入の減少による相殺額がこれを上回ったことから、3.5%減の 3,553 億円となりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資

収益(純額)は、主として米ドル建ての運用資産についての為替変動の影響により、1.1%増加し 625 億円となりました。円安ドル高による投資収益(純額)の増加は、より低い再投資利回りとヘッジ費用の償却額の増加により、一部相殺されました。米ドル建ての運用ポートフォリオに係るヘッジ費用の税引前償却額は、前年同期が5,400 万ドルであったのに対して、当四半期は6,000 万ドルとなりました。当四半期の収益合計は、前年同期比 2.8%減少し 4,190 億円となりました。当四半期の円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは前年同期比 1.3%減少しましたが、為替変動の影響を除けば、4.4%の減少でした。日本社の税引前事業利益率は、前年同期の 19.6%から 19.9%となりました。

年初来 9 ヶ月間の日本社の円ベースの保険料収入は、前年同期比 2.4%減の 1 兆 1,000 億円となりました。ヘッジ費用の償却額を除く投資収益(純額)は、前年同期比 3.4%減少し、1,883 億円となりました。円ベースの収益合計は、前年同期比 2.5%減少し 1 兆 3,000 億円となりました。税引前事業利益は、前年同期比 1.8%減の 2,590 億円となりました。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、円安ドル高により押し下げられました。当四半期の再保険後の保険料収入は 11.0%減少し 32 億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、前年同期比 7.6%減の 5 億 6,100 万ドルとなりました。前年同期比、収益合計は、10.5%減の 38 億ドル、税引前事業利益は 9.6%減の 7 億 4,800 万ドルとなりました。

本年年初来 9 ヶ月間のドルベースの保険料収入は、前年同期比 5.5%減少し 96 億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、7.0%減の 17 億ドルとなりました。前年同期比、収益合計は、5.7%減の 113 億ドル、税引前事業利益は 5.3%減の 23 億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料合計は、10.5%減の 237 億円(2 億 1,400 万ドル)となりました。当四半期のがん保険、医療保険及び給与サポート保険を含む第三分野商品の販売は、2.1%増加し 221 億円となりました。当四半期の WAYS と学資保険を

含む第一分野商品の販売は、より金利感応度の高い貯蓄性第一分野商品の販売を減少させるために当社が実行した施策を反映して、66.7%減少しました。

本年年初来 9 ヶ月間の新契約年換算保険料合計は、19.0%減の 712 億円 (6 億 3,700 万ドル)となりました。本年年初来 9 ヶ月間の第三分野商品の販売は、5.0%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 2.1%増加し、14 億ドルとなりました。投資収益(純額)は 2.8%増加して、1 億 8,100 万ドルとなりました。収益合計は 2.1%増の 16 億ドルとなりました。当四半期の米国社の税引前事業利益率は、前年同期の 20.9%から 20.1%となりました。当四半期の税引前事業利益は、2.2%減の 3 億 1,600 万ドルとなりました。この結果には、基盤への投資の増加が反映されています。

本年年初来 9 ヶ月間の収益合計は、1.9%増の 47 億ドル、保険料収入は、1.9%増の 42 億ドルとなりました。前年同期比、投資収益(純額)は、2.5%増の 5 億 3,900 万ドル、税引前事業利益は、前年同期比 1.1%増の 9 億 5,600 万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料合計は、7.5%増の 3 億 4,800 万ドルとなりました。当四半期の継続率は、前年同期の 76.9%から 77.7%となりました。本年年初来 9 ヶ月間の新契約年換算保険料合計は、3.8%増の 10 億ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2017 年度第 4 四半期支払いの四半期現金配当を 4.7%増配し、1株当たり 0.45ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2017 年 11 月 15 日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2017 年 12 月 1 日に支払われます。

今後の見通し

当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「日本社、米国社とも、当四半期および年初来の財務業績が、堅調な営業成績を反映し、当社の 2017 年度の目標達成に向けて前進を遂げていることを喜ばしく思っています。」

「当社の最大の利益貢献部門である日本社は、当四半期及び年初来 9 ヶ月間とも、強力な財務業績を残しました。当四半期の円ベースでの事業ベースの実績は、主として保険金給付金比率の改善を反映し、予想を超えるものとなりました。さらに当社の日本における事業は、引き続き第三分野商品の強力な販売を生み出しています。Financial Analysts Briefing の場で説明しましたように、第三分野商品の短期的な成長は、困難な前年比較という問題に直面していますが、2019 年までの間の第三分野商品の長期の販売成長率は、引き続き 4%から 6%の間を目標としています。」

「米国での事業に目を転じますと、業績全般及び持続的な強い収益力について喜ばしく思っています。特に、当四半期の強い販売実績について、私は心強く思っています。この成功は、専属代理店とブローカー・チャネルの双方に対して実行した成長戦略への当社の注力を反映しています。事業ベースの業績は、保険金給付金比率の継続的な強さと、進行している米国社の基盤への投資を反映しています。2019 年までの間の長期の新契約年換算保険料の成長率については、引き続き 3%から 5%の間を見込んでいます。」

「当社は、ご契約者と全てのステークホルダーのため、強い自己資本比率を維持することに、引き続きコミットしています。当社は、この財務力と、配当の増加、自己株式の取得及び事業への再投資といった重点施策との間でバランスをとっています。当社の資本状況が引き続き安定していることを前提に、日本社の財務力により、2017 年暦年において、1,200 億円から 1,400 億円の米国社への利益送金を行うことができるものと、当社は引き続き確信しています。2017 年度、これも資本状況が引き続き安定している

こと、及び他に非常に有力な選択肢がないことを前提に、当社は引き続き13億ドルから15億ドルの自己株式取得を考えています。」

「取締役会が、四半期配当を4.7%増配することを決定したことは、株主還元に対する当社のコミットメントを示すものです。これにより、当社は35年連続で増配することになります。当社の配当方針は、1株当たり事業利益の成長に沿って、フリー・キャッシュ・フローと資本の質を加味して定められます。」

「年初来9ヶ月間を終えたところで、当社の全般的な業績について、私は喜ばしく思っています。これらの業績は、2017年の残りの期間における見通しとともに、本年も堅調な財務業績の達成に向けて、アフラックを良いポジションに位置づけるものと、当社は確信しています。将来の成長のための施策を支えるための費用の増加が、第4四半期にも見込まれます。ここで2017年の希薄化後1株当たり事業利益目標を上方修正させていただくことを、私は大変嬉しく思います。2017年通年の為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益の目標を、従来の6.40ドルから6.65ドルの範囲から、6.75ドルから6.95ドルの範囲へと引き上げます。仮に第4四半期の期中平均円／ドル為替レートが1ドル110円から115円の間で推移した場合、米国GAAP外の指標である第4四半期の希薄化後1株当たり事業利益は約1.42ドルから1.66ドルの間となり、通年では約6.62ドルから6.86ドルになるものと当社は予想しています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年以上にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売No.1の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。アフラックの保険は、世界で5,000万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は、11年連続で当社を「世界で最

も倫理観の高い企業」の1社に選出しています。また、2017年、『フォーチュン』誌は、当社を19年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、2017年には、16回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の1社にも選出しています。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカー・シンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は aflac.com/espanol をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様様を2017年10月26日(木曜日)午前9時00分(米国東部夏時間)にaflac.com「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書
 (単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2017	2016	増減率
収益合計	5,506	5,716	-3.7%
保険金給付金(純額)	3,083	3,378	-8.7%
新契約費及び事業費合計	1,348	1,375	-2.0%
税引前当期純利益	1,075	963	11.6%
法人税等	359	334	
当期純利益	716	629	13.8%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.81	1.54	17.5%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.80	1.53	17.6%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	394,479	408,519	-3.4%
希薄化後	397,381	411,140	-3.3%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.43	0.41	4.9%

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書
(単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
収益合計	16,243	16,604	-2.2%
保険金給付金(純額)	9,174	9,657	-5.0%
新契約費及び事業費合計	4,050	4,033	0.4%
税引前当期純利益	3,019	2,914	3.6%
法人税等	998	1,006	
当期純利益	2,021	1,908	5.9%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.09	4.62	10.2%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.05	4.59	10.0%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	397,323	413,023	-3.8%
希薄化後	400,241	415,446	-3.7%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.29	1.23	4.9%

Aflac Incorporated 要約連結貸借対照表

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

9月30日現在:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
資産:			
運用資産及び現金・預金	122,489	128,935	-5.0%
繰延新契約費	9,413	9,759	-3.5%
その他の資産	4,181	5,407	-22.7%
資産合計	136,083	144,101	-5.6%
負債及び株主持分:			
保険契約準備金	98,713	105,556	-6.5%
社債等	5,248	5,765	-9.0%
その他の負債	101,145	9,995	1.5%
株主持分	21,977	22,785	-3.5%
負債及び株主持分合計	136,083	144,101	-5.6%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	393,875	408,021	-3.5%

米国会計基準(GAAP)外の指標の定義

アフラックは、本書に含まれている米国会計基準(GAAP)外の指標を以下の通り定義している。

・事業利益は、社債等に関連する支払金利ならびに外貨建て投資に関するヘッジ費用の償却額を含み、有価証券取引、減損、貸倒引当金の変動及び一部のデリバティブ及び外国為替取引活動から生じた資産運用実現損益、非経常的損益ならびにその他の非事業損益といった予測不能あるいは経営のコントロールが及ばない一部の項目を当期純利益から除外したものである。非経常的損益及びその他の非事業損益は、当社の保険事業の通常の業務に関係しない数少ない事象及び取引に関連する項目で構成されており、アフラックの基礎となる業績を反映していない。

・1株当たり事業利益(基本あるいは希薄化後)は、当該期間の事業利益を期中の加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。

・当期の為替変動の影響を除く事業ベースの株主資本利益率は、米国GAAPによる当期純利益合計から調整された、円/ドル為替レート変動の影響を除く事業利益を、その他の包括損益累計額(AOCI)を除く平均株主持分で除したものである。これと比較可能な米国GAAPの指標は、株主資本利益率(ROE)であり、これは当期純利益と平均株主持分を用いて決定される。

・ヘッジ費用の償却額は、日本社の運用ポートフォリオにおける一部の米ドル建て資産に係る為替リスクをヘッジするために、為替先物取引を用いて生じる費用を表すものである。これらのヘッジ費用の償却額は、取引開始時の直物為替レートと為替先物取引における約定先物レートとの差により得られ、ヘッジ期間にわたって、定額で認識される。ヘッジ費用の償却額と比較可能な米国GAAPの財務指標はない。

・調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額からその他の包括損益累計額(AOCI)(米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたもの)を控除したものである。

当期純利益から事業利益への調整¹

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
当期純利益	716	629	13.8%
事業利益への調整項目:			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	-53	37	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	-18	93	
その他及び非経常的(益)損 ³	10	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	21	-46	
事業利益	676	713	-5.2%
当期における為替変動の影響 ⁴	29	非適用	
当期における為替変動の影響を除く事業利益 ⁵	705	713	-1.1%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.80	1.53	17.6%
事業利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	-0.13	0.09	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	-0.05	0.23	
その他及び非経常的(益)損 ³	0.03	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	0.05	-0.11	
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.70	1.74	-2.3%
当期における為替変動の影響 ⁴ (単位:ドル)	0.07	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益 ⁵ (単位:ドル)	1.77	1.74	1.7%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²当年度の表示と一貫性を保つため、過年度の金額は、外貨建て投資に関連するヘッジ費用の償却額を事業利益の要素として区分する方法への変更を反映するよう改定されている。

³外国為替に係る益(損)は、当期の表示と一貫性を保つため、全期間にわたってその他の益(損)からデリバティブ及び外国為替に係る益(損)へと組み替えられている。

⁴為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

⁵当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートをを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

当期純利益から事業利益への調整¹

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
当期純利益	2,021	1,908	5.9%
事業利益への調整項目:			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	-33	-29	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	90	327	
その他及び非経常的(益)損 ³	38	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	-33	-104	
事業利益	2,083	2,101	-0.9%
当期における為替変動の影響 ⁴	31	非適用	
当期における為替変動の影響を除く事業利益 ⁵	2,114	2,101	0.6%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.05	4.59	10.0%
事業利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	-0.08	-0.07	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	0.22	0.79	
その他及び非経常的(益)損 ³	0.09	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	-0.08	-0.25	
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	5.20	5.06	2.8%
当期における為替変動の影響 ⁴ (単位:ドル)	0.08	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益 ⁵ (単位:ドル)	5.28	5.06	4.3%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²当年度の表示と一貫性を保つため、過年度の金額は、外貨建て投資に関連するヘッジ費用の償却額を事業利益の要素として区分する方法への変更を反映するよう改定されている。

³外国為替に係る益(損)は、当期の表示と一貫性を保つため、全期間にわたってその他の益(損)からデリバティブ及び外国為替に係る益(損)へと組み替えられている。

⁴為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

⁵当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートをを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

米国GAAPに基づく純資産額から調整後純資産額への調整

(単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日現在:

	2017	2016	増減率
米国GAAPに基づく純資産額 ¹	21,977	22,785	
その他の包括損益累計額(AOCI)の調整	-3,531	-5,364	
調整後純資産額 ²	18,446	17,421	
期末発行済株式数(単位:千株)	393,875	408,021	
1株当たりの米国GAAPに基づく純資産額(単位:ドル)	55.80	55.84	-0.1%
1株当たりの調整後純資産額(単位:ドル)	46.83	42.70	9.7%

¹米国GAAPに基づく純資産額は貸借対照表に記録された株主持分の合計額を示している。

²調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額からその他の包括損益累計額(米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたもの)を調整したものである。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から事業ベースのROEへの調整 (為替変動の影響を除く)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>
米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ¹	13.2%	11.1%
事業利益と当期純利益との差異 ²	-0.7%	1.5%
為替変動の影響 ³	-0.5%	-
その他の包括損益累計額(AOCI)除外の影響 ⁴	3.5%	3.9%
為替変動の影響を除く事業ベースの株主資本利益率(ROE) ⁵	15.4%	16.5%

¹ROEは当期純利益(年換算)を平均株主持分で除したものである。

²当期純利益から事業利益への調整に関する別表を参照のこと。

³為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の事業利益の、報告された事業利益に対する差異である。比較のみの目的で、前期の加重平均為替レートを用いて当期の損益を再計算し、当期における為替変動の影響を消去する。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

⁴平均株主持分から米国GAAPの平均AOCIのすべての構成要素を除外する。

⁵端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から事業ベースのROEへの調整 (為替変動の影響を除く)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>
米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ¹	12.7%	12.6%
事業利益と当期純利益との差異 ²	0.4%	1.3%
為替変動の影響 ³	-0.2%	-
その他の包括損益累計額(AOCI)除外の影響 ⁴	2.6%	2.4%
為替変動の影響を除く事業ベースの株主資本利益率(ROE) ⁵	15.5%	16.2%

¹ROEは当期純利益(年換算)を平均株主持分で除したものである。

²当期純利益から事業利益への調整に関する別表を参照のこと。

³為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の事業利益の、報告された事業利益に対する差異である。比較のみの目的で、前期の加重平均為替レートを用いて当期の損益を再計算し、当期における為替変動の影響を消去する。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

⁴平均株主持分から米国GAAPの平均AOCIのすべての構成要素を除外する。

⁵端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率―無監査)

2017年9月30日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	-7.4%	-4.9%
投資収益(純額) ⁴	-4.7%	-1.5%
保険金給付金及び事業費合計	-7.0%	-4.5%
事業利益	-5.2%	-1.1%
希薄化後1株当たり事業利益	-2.3%	1.7%

¹事業利益及び希薄化後1株当たり事業利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同一の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用の償却額を減算。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率―無監査)

2017年9月30日に終了した9ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	-3.4%	-2.1%
投資収益(純額) ⁴	-4.4%	-2.8%
保険金給付金及び事業費合計	-3.7%	-2.3%
事業利益	-0.9%	0.6%
希薄化後1株当たり事業利益	2.8%	4.3%

¹事業利益及び希薄化後1株当たり事業利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同一の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用の償却額を減算。

2017年1株当たり事業利益¹予想²

<u>円/ドル加重平均為替レート</u>	<u>希薄化後 1株当たり事業利益</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$7.10 – \$7.30	\$ 0.35
105	\$6.89 – \$7.09	\$ 0.14
108.70 ³	\$6.75 – \$6.95	\$ –
110	\$6.71 – \$6.91	\$ -0.04
115	\$6.53 – \$6.73	\$ -0.22
120	\$6.37 – \$6.57	\$ -0.38

¹ 1株当たり(基本あるいは希薄化後)事業利益は、米国会計基準外の財務指標であり、当該期間の事業利益を2016年及び2017年について示された加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。SEC Regulation S-KのItem 10(e)(1)(i)(B)に示される「不合理な努力」の例外規定により、この財務指標に関して、最も比較可能なGAAPの指標に対する定量的な調整計算は示されていない。最も比較可能なGAAPの指標、すなわち1株当たり利益に関する予測情報は、不合理な努力なしに得ることはできない。それは、これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有しており、予測のためには不合理な努力を要求されるからであり、当社は、投資家にとって有意でない幅広い範囲の予測計数に帰結すると確信している。この理由から、当社はこうした情報の予想される重要性は低いものと確信している。

² 上表は、全ての四半期を平均為替レートで再計算している。

³ 実際の2016年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・ 世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・ 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 円/ドル為替レートの変動
- ・ 日本支社の法的な子会社への変更の実行の失敗
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性

- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 金融市場の安定化を目指す政府の行為
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 当社の投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- ・ 優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 他の金融機関の信用力の低下
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 内部統制又はコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗
- ・ 米国証券取引委員会に随時提出される、アフラック・インコーポレーテッドの届出に記載されたその他のリスク及び不確実性



News Release

FOR IMMEDIATE RELEASE

Aflac Incorporated Announces Third Quarter Results, Upwardly Revises 2017 Operating EPS Outlook, Increases Fourth Quarter Cash Dividend 4.7%

COLUMBUS, Ga. – October 25, 2017 – Aflac Incorporated today reported its third quarter results.

Total revenues were \$5.5 billion during the third quarter of 2017, compared with \$5.7 billion in the third quarter of 2016. Net earnings were \$716 million, or \$1.80 per diluted share, compared with \$629 million, or \$1.53 per diluted share a year ago. The increase in net earnings in the third quarter of 2017 primarily reflects realized investment gains compared with third quarter 2016.

Net earnings in the third quarter of 2017 included pretax net realized investment gains of \$71 million, or \$0.18 per diluted share on a pretax basis, compared with pretax net losses of \$130 million, or \$0.32 per diluted share a year ago. Beginning in the first quarter of 2017, the company began reporting amortized hedge costs associated with certain U.S. dollar investments in the Japan portfolio as part of operating earnings. Pretax net realized gains from securities transactions and impairments for the third quarter amounted to \$53 million and were composed of pretax net realized investment gains from securities transactions of \$61 million and pretax realized investment losses from impairments and change in loan loss reserves of \$8 million. Pretax net realized investment gains from certain derivative and foreign currency activities in the quarter were \$18 million. Net earnings also included a pretax charge of \$10 million, reflecting Japan branch conversion costs. The income tax expense on non-operating items in the quarter was \$21 million.

The following discussion includes references to Aflac's non-U.S. GAAP performance measures, operating earnings, operating earnings per diluted share, operating return on equity, amortized hedge costs, and adjusted book value. These measures are not calculated in accordance with U.S. GAAP. The measures exclude items that the company believes may obscure the underlying fundamentals and trends in insurance operations because they tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with insurance operations. Management uses operating earnings, operating earnings per diluted share, and operating return on equity to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations on a consolidated basis and believes that a presentation of these measures is vitally important to an understanding of the underlying profitability drivers and trends of Aflac's insurance business. The company believes that amortized hedge costs, which are a component of operating earnings, measure the periodic currency risk management costs associated with hedging a portion of Aflac Japan's U.S. dollar-denominated investments and are an important component of net investment income. The company considers adjusted book value important as it excludes accumulated other comprehensive income (AOCI), which fluctuates due to market movements that are outside management's control. Definitions of the company's non-GAAP measures and reconciliations to the most comparable U.S. GAAP measures are provided in the schedules accompanying this release.

Due to the size of Aflac Japan, where the functional currency is the Japanese yen, fluctuations in the yen/dollar exchange rate can have a significant effect on reported results. In periods when the yen weakens, translating yen into dollars results in fewer dollars being reported. When the yen strengthens, translating yen into dollars results in more dollars being reported. Consequently, yen weakening has the effect of suppressing current period results in relation to the comparable prior period, while yen

strengthening has the effect of magnifying current period results in relation to the comparable prior period. As a result, the company views foreign currency translation as a financial reporting issue for Aflac rather than an economic event to the company or shareholders. Because a significant portion of the company's business is conducted in Japan and foreign exchange rates are outside of management's control, Aflac believes it is important to understand the impact of translating Japanese yen into U.S. dollars. Operating earnings, operating earnings per diluted share, and operating return on equity, all excluding current period foreign currency impact, are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior year period, which eliminates dollar based fluctuations driven solely from currency rate changes.

The average yen/dollar exchange rate in the third quarter of 2017 was 111.03, or 7.8% weaker than the average rate of 102.37 in the third quarter of 2016. For the first nine months, the average exchange rate was 111.89, or 3.0% weaker than the rate of 108.58 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the third quarter and first nine months were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the third quarter were \$676 million, compared with \$713 million in the third quarter of 2016. The decrease in operating earnings primarily reflects the impact of a weaker yen in the quarter. Strong overall margins in the quarter were driven by an improved benefit ratio in Japan and include pretax cancer claim reserve adjustments of \$22 million, or ¥2.4 billion. Operating earnings per diluted share decreased 2.3% to \$1.70 per diluted share in the quarter, and includes an after-tax benefit from the reserve adjustment of \$0.04 per diluted share, compared with \$1.74 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$0.07 for the third quarter. Excluding the impact of the weaker yen, operating earnings per diluted share increased 1.7% to \$1.77.

For the first nine months of 2017, total revenues were down 2.2% to \$16.2 billion, compared with \$16.6 billion in the first nine months of 2016. Net earnings were \$2.0 billion, or \$5.05 per diluted share, compared with \$1.9 billion, or \$4.59 per diluted share, for the first nine months of 2016. Operating earnings for the first nine months of 2017 were \$2.1 billion, or \$5.20 per diluted share, compared with \$2.1 billion, or \$5.06 per diluted share, in 2016. Excluding the negative impact of \$0.08 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share increased 4.3% for the first nine months of 2017.

Total investments and cash at the end of September 2017 were \$122.5 billion, compared with \$121.9 billion at June 30, 2017.

In the third quarter, Aflac repurchased \$219 million, or 2.7 million of its common shares. For the first nine months of the year, the company purchased \$1.0 billion, or 13.9 million of its common shares. At the end of September, the company had 53.0 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$22.0 billion, or \$55.80 per share, at September 30, 2017, compared with \$22.8 billion, or \$55.84 per share, at September 30, 2016. Shareholders' equity at the end of the third quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$5.4 billion, compared with a net unrealized gain of \$6.1 billion at September 30, 2016. The annualized return on average shareholders' equity in the third quarter was 13.2%.

Shareholders' equity excluding AOCI was \$18.4 billion, or \$46.83 per share at September 30, 2017, compared with \$17.4 billion, or \$42.70 per share, at September 30, 2016. On an operating basis, the annualized return on average shareholders' equity excluding AOCI on a currency-neutral basis for the third quarter was 15.4% and for the first nine months of the year was 15.5%.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income, net of reinsurance, decreased 3.5% in the third quarter to ¥355.3 billion, with growth in third sector premium more than offset by an anticipated reduction in first sector premium due to savings products reaching premium paid-up status in the quarter. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 1.1% to ¥62.5 billion primarily due to the foreign

currency impact of U.S. dollar-denominated investments. The increases in net investment income from the weakening yen/strengthening dollar were partially offset by lower re-investment rates and increased amortized hedge costs. Amortized hedge costs on the U.S. dollar investment portfolio totaled \$60 million pretax quarter to date, compared with \$54 million in the previous year. Total revenues were down 2.8% to ¥419.0 billion in the third quarter. Pretax operating earnings in yen for the quarter decreased 1.3% on a reported basis and 4.4% on a currency-neutral basis. The pretax operating profit margin for the Japan segment was 19.9%, compared with 19.6% in the prior year.

For the first nine months, premium income in yen was ¥1.1 trillion, or 2.4% lower than a year ago. Net investment income, net of amortized hedge costs, decreased 3.4% to ¥188.3 billion. Total revenues in yen were down 2.5% to ¥1.3 trillion. Pretax operating earnings were ¥259.0 billion, or 1.8% lower than a year ago.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the third quarter were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate. Premium income, net of reinsurance, decreased 11.0% to \$3.2 billion in the third quarter. Net investment income, net of amortized hedge costs, decreased 7.6% to \$561 million. Total revenues declined by 10.5% to \$3.8 billion. Pretax operating earnings declined 9.6% to \$748 million.

For the first nine months of the year, premium income in dollars was \$9.6 billion, or 5.5% lower than a year ago. Net investment income, net of amortized hedge costs, decreased 7.0% to \$1.7 billion. Total revenues were down 5.7% to \$11.3 billion. Pretax operating earnings were \$2.3 billion, or 5.3% lower than a year ago.

In the third quarter, total new annualized premium sales decreased 10.5% to ¥23.7 billion, or \$214 million. Third sector sales, which include cancer, medical and income support products, increased 2.1% to ¥22.1 billion in the quarter. Total first sector sales, which include products such as WAYS and child endowment, were down 66.7% in the quarter, reflecting the company's actions to reduce the sale of first sector savings products that are more interest-sensitive.

For the first nine months of the year, new annualized premium sales declined 19.0% to ¥71.2 billion, or \$637 million. Third sector sales increased 5.0% in the first nine months of the year.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 2.1% to \$1.4 billion in the third quarter. Net investment income was up 2.8% to \$181 million. Total revenues increased 2.1% to \$1.6 billion. The pretax operating profit margin for the U.S. segment was 20.1%, compared with 20.9% a year ago. Pretax operating earnings in the quarter were \$316 million, a decrease of 2.2%, reflecting elevated investment in the platform.

For the first nine months of the year, total revenues were up 1.9% to \$4.7 billion and premium income rose 1.9% to \$4.2 billion. Net investment income increased 2.5% to \$539 million. Pretax operating earnings were \$956 million, 1.1% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 7.5% in the quarter to \$348 million. Persistency in the quarter was 77.7%, compared with 76.9% a year ago. For the first nine months of the year, total new sales were up 3.8% to \$1.0 billion.

DIVIDEND

The board of directors announced a 4.7% increase in the quarterly cash dividend, effective with the fourth quarter payment. The fourth quarter dividend of \$0.45 per share is payable on December 1, 2017, to shareholders of record at the close of business on November 15, 2017.

OUTLOOK

Commenting on the company's results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased that our third quarter and year to date financial results in both Japan and the U.S. reflected solid performance and continued our progress toward achieving the company's objectives for 2017.

"Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated strong financial results both in the quarter and the first nine months of the year. In yen terms, results on an operating basis were better than expected for the quarter, resulting primarily from improved benefit ratios. Additionally, our operation in Japan continued to produce strong third sector sales results. As discussed at our Financial Analysts Briefing, near-term growth rates for third sector products face challenging comparisons, and we continue to target a long-term growth rate in the range of 4% to 6% through 2019.

"Turning to our U.S. operations, we are pleased with our overall performance and continued strength in profitability. I am particularly encouraged by our strong sales results in the third quarter. This success reflects our focus on the growth strategy we implemented in both our career and broker channels. Our results on an operating basis reflect continued strength in benefit ratios and ongoing investment in our platform. We continue to anticipate a long-term growth rate of 3% to 5% in new annualized premium sales through 2019.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and all stakeholders. We balance this financial strength with a focus on increasing the dividend, repurchasing shares and reinvesting in our business. We continue to believe our financial strength in Japan positions us to repatriate in the range of ¥120 to ¥140 billion to the U.S. for the calendar year 2017, assuming capital conditions remain stable. We continue to anticipate that we'll repurchase in the range of \$1.3 to \$1.5 billion of our shares in 2017, which also assumes stable capital conditions and the absence of compelling alternatives.

"The board of directors' action to increase the quarterly dividend by 4.7% demonstrates our commitment to rewarding our shareholders. This marks the 35th consecutive year of increasing our cash dividend. Our dividend policy is guided by growth in operating earnings per share along with free cash flow generation and capital quality.

"Having completed the first nine months of the year, I am pleased with the company's overall results. We believe those results, combined with our outlook for the remainder of 2017, well-position Aflac for another year of solid financial performance. We continue to expect increased spending in the fourth quarter in support of initiatives designed to drive future growth. I am extremely pleased that we are upwardly revising our 2017 operating earnings per diluted share outlook from a range of \$6.40 to \$6.65 to a higher range of \$6.75 to \$6.95, both of which exclude the impact of the yen. If the yen averages ¥110 to ¥115 to the dollar for the fourth quarter, we would expect operating earnings, a non-GAAP measure, to be approximately \$1.42 to \$1.66 per diluted share in the fourth quarter, making full-year operating earnings approximately \$6.62 to \$6.86 per diluted share."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For more than six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leader in voluntary insurance sales at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures 1 in 4 households. Aflac insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For 11 consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere as one of the World's Most Ethical Companies. In 2017, Fortune magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work for in America for the 19th consecutive year and in 2017 included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 16th time. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or aflac.com/espanol.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Thursday, October 26, 2017.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,506	\$ 5,716	(3.7)%
Benefits and claims, net	3,083	3,378	(8.7)
Total acquisition and operating expenses	1,348	1,375	(2.0)
Earnings before income taxes	1,075	963	11.6
Income taxes	359	334	
Net earnings	\$ 716	\$ 629	13.8%
Net earnings per share – basic	\$ 1.81	\$ 1.54	17.5%
Net earnings per share – diluted	1.80	1.53	17.6
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	394,479	408,519	(3.4)%
Diluted	397,381	411,140	(3.3)
Dividends paid per share	\$ 0.43	\$ 0.41	4.9 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 16,243	\$16,604	(2.2)%
Benefits and claims, net	9,174	9,657	(5.0)
Total acquisition and operating expenses	4,050	4,033	0.4
Earnings before income taxes	3,019	2,914	3.6
Income taxes	998	1,006	
Net earnings	\$ 2,021	\$ 1,908	5.9%
Net earnings per share – basic	\$ 5.09	\$ 4.62	10.2%
Net earnings per share – diluted	5.05	4.59	10.0
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	397,323	413,023	(3.8)%
Diluted	400,241	415,446	(3.7)
Dividends paid per share	\$ 1.29	\$ 1.23	4.9 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$122,489	\$ 128,935	(5.0) %
Deferred policy acquisition costs	9,413	9,759	(3.5)
Other assets	4,181	5,407	(22.7)
Total assets	\$136,083	\$ 144,101	(5.6) %
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 98,713	\$ 105,556	(6.5) %
Notes payable	5,248	5,765	(9.0)
Other liabilities	10,145	9,995	1.5
Shareholders' equity	21,977	22,785	(3.5)
Total liabilities and shareholders' equity	\$136,083	\$ 144,101	(5.6) %
Shares outstanding at end of period (000)	393,875	408,021	(3.5)%

DEFINITIONS OF NON-U.S. GAAP FINANCIAL MEASURES

Aflac defines the non-U.S. GAAP measures included in this earnings release as follows:

- Operating earnings includes interest cash flows associated with notes payable and amortized hedge costs related to foreign currency denominated investments, but excludes certain items that cannot be predicted or that are outside of management's control, such as realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, change in loan loss reserves and certain derivative and foreign currency activities; nonrecurring items; and other non-operating income (loss) from net earnings. Nonrecurring and other non-operating items consist of infrequent events and activity not associated with the normal course of the company's insurance operations and do not reflect Aflac's underlying business performance.
- Operating earnings per share (basic or dilutive) are the operating earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or dilutive) for the period presented.
- Operating return on equity excluding current period foreign currency impact is calculated using operating earnings excluding the impact of the yen/dollar exchange rate, as reconciled with total U.S. GAAP net earnings, divided by average shareholders' equity, excluding accumulated other comprehensive income (AOCI). The comparable U.S. GAAP measure is return on average equity (ROE) as determined using net earnings and average total shareholders' equity.
- Amortized hedge costs represent costs incurred in using foreign currency forward contracts to hedge the foreign exchange risk of a portion of U.S. dollar-denominated assets in the company's Japan segment investment portfolio. These amortized hedge costs are derived from the difference between the foreign currency spot rate at time of trade inception and the contractual foreign currency forward rate, recognized on a straight line basis over the term of the hedge. There is no comparable U.S. GAAP financial measure for amortized hedge costs.
- Adjusted book value is the U.S. GAAP book value, less AOCI as recorded on the U.S. GAAP balance sheet.

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO OPERATING EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 716	\$ 629	13.8%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	(53)	37	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	(18)	93	
Other and non-recurring (income) loss ³	10	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	21	(46)	
Operating earnings	676	713	(5.2)%
Current period foreign currency impact ⁴	29	N/A	
Operating earnings excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 705	\$ 713	(1.1)%
Net earnings per diluted share	\$ 1.80	\$ 1.53	17.6%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	(0.13)	0.09	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	(0.05)	0.23	
Other and non-recurring (income) loss ³	0.03	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	0.05	(0.11)	
Operating earnings per diluted share	1.70	1.74	(2.3)%
Current period foreign currency impact ⁴	0.07	N/A	
Operating earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 1.77	\$ 1.74	1.7%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² To conform to current year presentation, prior-year amounts have been revised to reflect the change in methodology of classifying the amortized hedge costs related to foreign currency denominated investments as a component of operating earnings.

³ Foreign currency gains (losses) for all periods have been reclassified from other income (loss) to derivative and foreign currency gains (losses) for consistency with current period presentation.

⁴ Prior period foreign currency impact reflected as “N/A” to isolate change for current period only.

⁵ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO OPERATING EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 2,021	\$ 1,908	5.9%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	(33)	(29)	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	90	327	
Other and non-recurring (income) loss ³	38	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	(33)	(104)	
Operating earnings	2,083	2,101	(0.9)%
Current period foreign currency impact ⁴	31	N/A	
Operating earnings excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 2,114	\$ 2,101	0.6%
Net earnings per diluted share	\$ 5.05	\$ 4.59	10.0%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	(0.08)	(0.07)	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	0.22	0.79	
Other and non-recurring (income) loss ³	0.09	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	(0.08)	(0.25)	
Operating earnings per diluted share	5.20	5.06	2.8%
Current period foreign currency impact ⁴	0.08	N/A	
Operating earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 5.28	\$ 5.06	4.3%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² To conform to current year presentation, prior-year amounts have been revised to reflect the change in methodology of classifying the amortized hedge costs related to foreign currency denominated investments as a component of operating earnings.

³ Foreign currency gains (losses) for all periods have been reclassified from other income (loss) to derivative and foreign currency gains (losses) for consistency with current period presentation.

⁴ Prior period foreign currency impact reflected as "N/A" to isolate change for current period only.

⁵ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

RECONCILIATION OF U.S. GAAP BOOK VALUE TO ADJUSTED BOOK VALUE
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
U.S. GAAP book value ¹	\$ 21,977	\$ 22,785	
AOCI adjustment	(3,531)	(5,364)	
Adjusted book value ²	\$ 18,446	\$ 17,421	
Number of outstanding shares at end of period (000)	393,875	408,021	
U.S. GAAP book value per common share	\$ 55.80	\$ 55.84	(0.1)%
Adjusted book value per common share	46.83	42.70	9.7

¹ U.S. GAAP book value represents total shareholders' equity as recorded on the balance sheet.

² Adjusted book value is the U.S. GAAP book value, adjusted for AOCI (as recorded on the U.S. GAAP balance sheet).

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO OPERATING ROE
(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>
U.S. GAAP ROE ¹	13.2%	11.1%
Differences between operating earnings and net earnings ²	(0.7)	1.5
Impact of foreign currency ³	(0.5)	–
Impact of excluding AOCI ⁴	3.5	3.9
Operating ROE, excluding impact of foreign currency ⁵	15.4%	16.5%

¹ ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

² See separate reconciliation of net income to operating earnings.

³ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated operating earnings compared to reported operating earnings. For comparative purposes, only current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

⁴ Excludes all U.S. GAAP components of average AOCI from average shareholders' equity.

⁵ Amounts presented may not foot due to rounding.

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO OPERATING ROE
(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>
U.S. GAAP ROE ¹	12.7%	12.6%
Differences between operating earnings and net earnings ²	0.4	1.3
Impact of foreign currency ³	(0.2)	–
Impact of excluding AOCI ⁴	2.6	2.4
Operating ROE, excluding impact of foreign currency ⁵	15.5%	16.2%

¹ ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

² See separate reconciliation of net income to operating earnings.

³ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated operating earnings compared to reported operating earnings. For comparative purposes, only current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

⁴ Excludes all U.S. GAAP components of average AOCI from average shareholders' equity

⁵ Amounts presented may not foot due to rounding.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2017	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Net premium income ³	(7.4)%	(4.9)%
Net investment income ⁴	(4.7)	(1.5)
Total benefits and expenses	(7.0)	(4.5)
Operating earnings	(5.2)	(1.1)
Operating earnings per diluted share	(2.3)	1.7

¹ Refer to previously defined operating earnings and operating earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs on foreign investments

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2017	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Net premium income ³	(3.4)%	(2.1)%
Net investment income ⁴	(4.4)	(2.8)
Total benefits and expenses	(3.7)	(2.3)
Operating earnings	(0.9)	0.6
Operating earnings per diluted share	2.8	4.3

¹ Refer to previously defined operating earnings and operating earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs on foreign investments

2017 OPERATING EARNINGS PER SHARE¹ SCENARIOS²

<u>Weighted-Average Yen/Dollar Exchange Rate</u>	<u>Operating Earnings Per Diluted Share</u>	<u>Foreign Currency Impact</u>
100	\$ 7.10 - 7.30	\$ 0.35
105	6.89 - 7.09	0.14
108.70 ³	6.75 - 6.95	-
110	6.71 - 6.91	(0.04)
115	6.53 - 6.73	(0.22)
120	6.37 - 6.57	(0.38)

¹ A non-GAAP financial measure, operating earnings per share (basic or dilutive) are the operating earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or dilutive) for the period presented in 2017 and 2016. In reliance on the "unreasonable efforts" exception in Item 10(e)(1)(i)(B) of SEC Regulation S-K, a quantitative reconciliation to the most comparable GAAP measure is not provided for this financial measure. Forward-looking information with regard to the most comparable GAAP financial measure, earnings per share, is not available without unreasonable effort. This is due to the unpredictable and uncontrollable nature of these reconciling items, which would require an unreasonable effort to forecast and we believe would result in such a broad range of projected values that would not be meaningful to investors. For this reason, we believe that the probable significance of such information is low.

² Table recasts all quarters to the average exchange rate.

³ Actual 2016 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This report contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by Company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target", "outlook" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; failure to execute or implement the conversion of the Japan branch conversion to a legal subsidiary; limited availability of acceptable yen-denominated investments; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; ongoing changes in our industry; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; defaults and credit downgrades of our investments; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decline in creditworthiness of other financial institutions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; decreases in our financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; differing judgments applied to investment valuations; ability to effectively manage key executive succession; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis,

acts of terrorism and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; loss of consumer trust resulting from events external to our operations; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; level and outcome of litigation; failure of internal controls or corporate governance policies and procedures; and other risks and uncertainties described from time to time in Aflac Incorporated's filings with the SEC.

Analyst and investor contact – David A. Young, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or dyoung@aflac.com

Media contact – Catherine H. Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###